

エキスパート登録 **専門家から**の
ワンポイント
アドバイス

合同会社マネジメント・プラス 代表社員
中小企業診断士 **川上 実**



【略歴】

私の経営支援のスタンスは、経営管理のサイクルである「PDCAサイクル」を確実に回すこと。そして支援者である私からの一方通行のコミュニケーションではなく、双方向のコミュニケーションを行うことで様々な気づきを得てもらうことです。製造業、商業、サービス業、業種や規模を問わず基本は同じです。

—— 補助金を使って経営にイノベーションを起こそう!! ——

■ 内容

1. あなたの会社にもイノベーションが必要

2025年10月に発表されたノーベル経済学賞における重要キーワードは、「経済成長とイノベーション」でした。人手不足や物価高、さらにはAI技術が進展する中、事業を継続的に成長・発展させるためには、あなたの会社にもイノベーション、つまり「私の解釈では）強みを活かして、儲け方を変えること」は不可欠です。

2. 補助金を活用する動機は？

最近の多くの事業者にとっての関心事のひとつに「補助金」があります。私は公的機関で長年窓口相談を担当しています。補助金申請の締め切り時期が迫ってくると、相談件数が一挙に増えます。

それでは、多くの事業者が補助金に関心を持つ理由は何でしょうか？

例えば「何かお金がもらえるらしいから、もらわなければ損」といった動機を持つ人が多いのは事実です。このような動機を持つことは理解できませんし、決して悪いことでもないと思います。

もちろんイノベーションを起こしたくて、補助金活用を目指す事業者も多くいます。

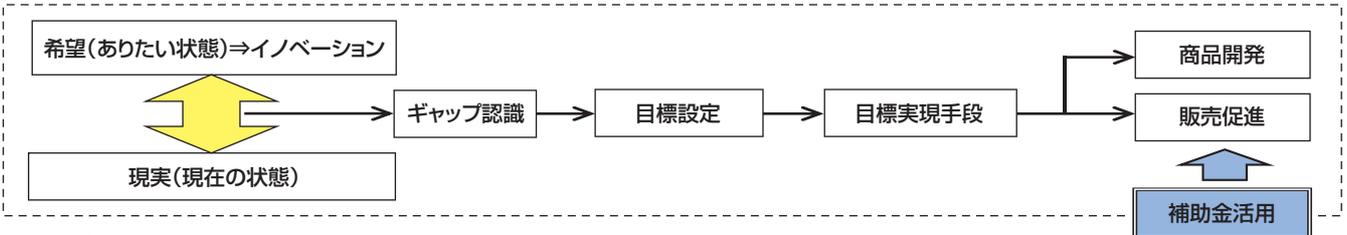
3. 目標と手段を取り違えない

補助金活用はあくまでも手段であって目的・目標ではありません。したがって、目的・目標が不明確なまま補助金を活用してしまうと、かえってデメリットの方が多くなります。

補助金活用がうまくできた例と、うまくできなかった例には次があります。ちなみに、多くの補助金は、補助対象経費の全額（100%）が補助されるケースは少なく、3分の1程度の自己負担、つまり持ち出しが発生します。

うまく活用できた例	うまく活用できなかった例
<ul style="list-style-type: none"> ● これまで躊躇していた店舗改装。補助金が活用できると知り、改装の踏み切りがついた。その結果もあり、顧客満足度が上がった。 ● 食品製造の小規模事業者にとって負担が高い商品開発。補助金を使って新商品の開発と販売促進をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助金が使えろといった理由だけで、欲しくもない設備を導入してしまった。 ● 補助金が使えろというので、あまり深く考えずに展示会の出展や看板の制作などの広告宣伝を行った。しかし、ほとんど効果がなかった。

補助金を活用する「あるべき動機」を図式化すると、次のとおりになります。この「構図」が成功の鍵になります。



4. まずは補助金申請にチャレンジしてみよう

「拙速は巧遅に勝る」という言葉があります。事業経営においても尻込みせず、素早く行動することが大切です。

補助金には、補助金額に応じて「中小企業新事業進出補助金」などのように、採択に至るまで比較的難易度の高いものから、比較的手軽に取り組めるものまで幅広くあります。

2月に公募が開始された「香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金」があります。この総合補助金は、これまでも同様の内容で複数回公募されており、比較的申請がしやすい補助金のひとつです。

これまで補助金を一度も使ったことがない事業者は多くいます。この補助金を入り口に、補助金申請にチャレンジし、自社のイノベーションに向けた一歩を踏み出してみませんか。

もし申請に不安がある場合は、お近くの商工会に相談してみるのもいいと思います。

エキスパート・バンクとは？

各分野の専門家が、経営上・技術上の様々な問題に対して、直接事業所を訪問し、問題解決に向けての支援・アドバイスを行います。

例えば、ターゲットとする顧客層に最適なSNSの活用方法を知りたい。クラウドサービスの導入に当たって、運用ルールを決めておきたい。といった取組みを応援します。

1テーマ2回まで無料となっておりますので、ぜひご活用ください。

■ ご相談・お問い合わせは、最寄りの商工会まで ■

新任職員紹介 よろしくお願ひします



令和8年1月1日付

綾川町商工会 経営支援員 **清水 舞子**